

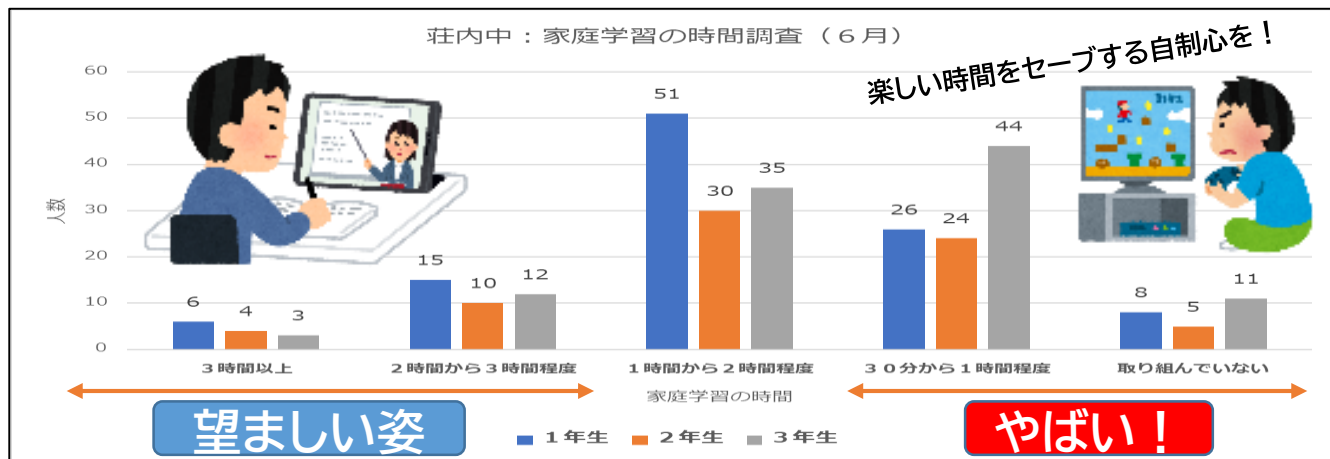


鴨川だより

第9号 令和4年 7月15日

生徒が主体的に未来を創る学校

8号から続いて！自分の人生は自分で創ろう。 人生100年時代をどう生きるか自分で考える！



【生徒のみなさんへ】

荘内中の生徒の大きな課題は、家庭学習の時間が短いことです。全国学力学習状況調査が始まって以来、ずっと課題とされてきました。これは、調査結果から学習時間が少ない生徒の割合が多いという意味です。上の表の「望ましい姿」のように頑張っている生徒もいることはいうまでもありません。昔から中学生の望ましい家庭学習の時間は学年プラス1時間とか言われていましたね。コツコツ頑張っている生徒も勿論います。これからも頑張ってください。

あまり勉強に気持ちが向かない生徒のみなさんのために8号は書きました。自分を大切にしたいですね。「ゲームやYouTubeは楽しい」ことは間違いありません。しかし、社会は変わり高校進学や大学進学だけでその後の人生が決まってくるものではなくなっています。激動する社会の中で絶えず自分をアップデートする勉強を生涯続けなければ、職場で通用しなくなるともいわれています。

つまり、学校の勉強ができるできないではなく、「学びに向かう力」が大切なのです。楽しく過ごしたい時間を自分でセーブし、嫌な勉強に取り組む時間も自分で確保する生活を送れることが、その後の人生の中でも必ず生きてきます。

「高校入学がゴールではない」むしろ今の時代、どの高校に入っても、その後の学び方で人生は大きく変わってきます。と8号でも書きました。20代、30代になっても最新技術を学び続けるなど、技術革新についていくよう、自分で学び続けなければならない時代。人生100年時代を迎え、人生のセカンドステージ、サードステージとまったく違う生き方を自分で開拓していかなければならないともいわれています。令和時代以降の生き方のため「学びに向かう力」を身につけていきましょう。

荘内中の「先行学習を基盤とした協同学習」は、自学自習で取り組む予習活動を奨励し、授業では自分の考えをアウトプットしたり、他者の考えとすりあわせて深化させたりする学習を進めています。

文部科学省の学習指導要領では、知識重視のこれまでの詰め込み学習から新しいまなびの姿の実現が求められています。「自分のために自分の学習をする学習者になる」ことが大切です。そのために荘内中のまなびスタイルを進めています。（主体的な学習者になるため）

勉強から逃げようとしている生徒のみなさん、AI化が進みどんどん変わる社会の中で、自分の人生を自分で創るため、自制心を持ち、学習に向かいましょう。

評価・評定は、日頃の授業での取組や宿題の内容（提出率ではなく）、単元末テストの結果等で総合的に算出されます。昔のように学期末考査の結果や提出物の有無等だけが重要視されることはありません。疑問に思う場合は教科担当に遠慮なく聞きましょう。学期内単元評価の状況も含め詳しく説明します。

【保護者のみなさんへ】

荘内中学校では、生徒の活躍や様々な学校の方針等を随時、学校ホームページで紹介しています。お暇なときにはぜひご覧ください。右のQRコードでご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策の両面での取組が必要です。運動時にはマスクを外す必要があります。自分で判断して、人との距離が近い時には自らマスクを着用する力が必要です。

